

□環境政策課廃棄物対策係（☎内線1881）

# 生ごみ・剪定枝や草の ごみ減量について

## 生ごみは多くの 水分を含んでいます

生ごみの水分量は70～80%といわれており、重量があります。また腐敗すると悪臭を発します。

生ごみの水切りをすると悪臭を防止できるほか、ごみの容量が減り、ごみ袋（市指定袋）の枚数を減らしたり、サイズを小さくすることができます。

## 【生ごみの減量方法】 生ごみを出さない工夫をしましょ

- 買物に行く前に冷蔵庫の中身を確認する
- 食べる量を考えて献立を決める
- 冷蔵庫の中にあるものだけで料理する日を作る

## ぬらさないようにして ぬらさないようにして

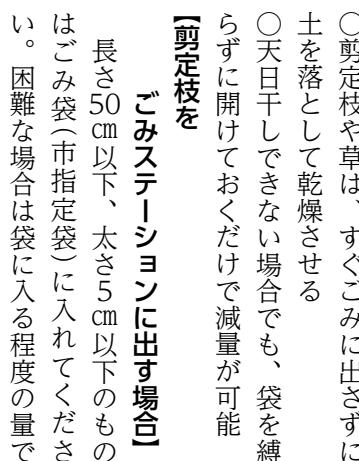
○基本は「最初からぬらさない」ことです。野菜などは使えない部分をはじめに分けてから洗いましょう

## 水切りしましょ

- ゴム手袋を使用して直接水切りする
- すぐに捨てずに、三角コーナーなどに入れて一晩おいてから捨てる
- 市販の水切りグッズなどを活用する

## 【生ごみの水切り器を 無料でお渡しします】

安中市環境保健自治団体連合会では、生ごみの水切り器を市在住の世帯を対象に無料で配付しています。希望する人は環自連事務局（□環境政策課または松総務管理課）までお越しください。なお、数に限りがありますので、終了の際はご了承ください。



## 剪定枝や草も 多くの水分を含んでいます

「剪定枝」や「草」を乾燥させると、15～60%減量するといわれています。

水分を多く含んでいると、焼却時に多くのエネルギーが必要になり、処理経費が多くかかってしまいます。

## 【剪定枝や草の減量方法】

- 剪定枝や草は、すぐごみに出さずに土を落として乾燥させる
- 天日干しきれない場合でも、袋を縛らずに開けておくだけで減量が可能ださい。

## 【剪定枝を

### ごみステーションに出す場合

長さ50cm以下、太さ5cm以下のものはごみ袋（市指定袋）に入れてください。困難な場合は袋に入る程度の量で

